

平成 18 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社 東 和 銀 行
代 表 者 名 取締役 頭 取 増 田 熙 男
(コト` 番号 8558 東証第一部)
問 合 せ 先 財 務 経 理 部 長 田 村 盛 司
TEL (027) 234 - 1111

平成 19 年 3 月 期 中 間 期 業 績 予 想 の 修 正 並 び に 有 価 証 券 評 価 損 に 関 す る お 知 ら せ

1 . 業 績 予 想 の 修 正

平成 18 年 5 月 23 日 の 決 算 発 表 時 に 公 表 し た 平 成 19 年 3 月 期 中 間 期 業 績 予 想 を 以 下 の と お り 修 正 い た し ま す 。

(1) 単 体 業 績 予 想 の 修 正

平成 19 年 3 月 期 中 間 期 (平 成 18 年 4 月 1 日 ~ 平 成 18 年 9 月 30 日)

(単 位 : 百 万 円 、 %)

	経常収益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	18,200	1,900	1,300
今回修正予想 (B)	18,470	1,360	980
増減額 (B - A)	270	3,260	2,280
増減率	1.5	171.6	175.4
前中間期実績 (平成 17 年 9 月 期)	18,789	626	1,340

(2) 連 結 業 績 予 想 の 修 正

平成 19 年 3 月 期 中 間 期 (平 成 18 年 4 月 1 日 ~ 平 成 18 年 9 月 30 日)

(単 位 : 百 万 円 、 %)

	経常収益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	21,000	2,100	1,400
今回修正予想 (B)	21,260	1,300	880
増減額 (B - A)	260	3,400	2,280
増減率	1.2	161.9	162.9
前中間期実績 (平成 17 年 9 月 期)	21,793	822	1,649

(3) 業 績 予 想 修 正 の 理 由

償却・引当基準の改定による予想損失率算定方法の変更を含む不良債権処理額の増加、株式の減損等により下方修正となりました。

連結業績は、銀行単体の業績修正の影響を受けたものです。

(注)平成 19 年 3 月 期 通 期 の 業 績 予 想 に つ き ま し て は 、 現 在 算 定 中 で あ る た め 中 間 決 算 発 表 時 に お 知 ら せ し ま す 。

2. 平成19年3月期中間期末の有価証券評価損

当行では、「その他有価証券」について、金融商品の時価会計基準により、簿価に比べ時価あるいは実質価額が著しく低下した銘柄につき減損処理を行っております。

このたび、平成19年3月期中間期末における有価証券評価損(減損処理額)を算出しました結果、次のとおりとなりましたのでお知らせいたします。

平成19年3月期中間期末の有価証券評価損の総額 (A)	1,485 百万円
平成18年3月期の純資産額 (B)	63,581 百万円
(A / B) × 100	2.3%
平成18年3月期の経常利益額 (C)	6,079 百万円
(A / C) × 100	24.4%
平成18年3月期の当期純利益額 (D)	2,453 百万円
(A / D) × 100	60.5%

(ご参考)

1. 当行の中間決算期末は、9月30日であります。

2. 減損処理基準の概要は次のとおりです。

期末の時価が簿価に比べて50%以上下落した銘柄は全て減損処理

期末の時価が簿価に比べて30%以上50%未満下落した銘柄は回復可能性なしと判断したものを減損処理

以上